

2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月10日

上場会社名 株式会社ケイブ 上場取引所 東
コード番号 3760 URL http://www.cave.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 秋田 英好
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 伊藤 裕章 (TEL) 03-6820-8176
四半期報告書提出予定日 2024年4月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績(2023年6月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	8,560	138.7	1,301	—	1,455	—	1,178	△30.6
2023年5月期第3四半期	3,586	204.0	△608	—	△590	—	1,698	—

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 1,206百万円(△30.0%) 2023年5月期第3四半期 1,725百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	196.71	179.06
2023年5月期第3四半期	309.36	285.59

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年5月期3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	13,422	6,387	34.6
2023年5月期	13,492	5,087	23.8

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 4,645百万円 2023年5月期 3,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	0.00	—		
2024年5月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

2024年5月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。

なお、当該理由などは、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年5月期3Q	6,693,500株	2023年5月期	6,614,600株
2024年5月期3Q	671,297株	2023年5月期	697,297株
2024年5月期3Q	5,988,793株	2023年5月期3Q	5,996,650株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・2024年5月期の業績予想につきましては、前述のとおり記載しておりません。本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
3. その他	13
継続企業の前提に関する重要事象等	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績等の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化が進む中、個人消費やインバウンド需要の回復の動きが見られるなど、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。一方で世界的な金融引き締めや、中国経済の先行き懸念、中東情勢の緊迫化など海外景気の下振れ影響や、円安進行および物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いており、国内景気の今後の動向については注視が必要と考えています。

このような環境の中、当社及び連結子会社（以下、「当社グループ」という。）のゲーム事業セグメントが属するオンラインエンターテインメント市場におきましては、オンラインプラットフォーム(家庭用ゲーム機ソフト以外)のけん引により、2022年国内ゲーム市場規模が前年比1.4%増の2兆316億円となりました。このうち1兆6,568億円がオンラインプラットフォームとなり、国内ゲーム市場の約82%を占めています。（出典：『ファミ通ゲーム白書2023』 株式会社角川アスキー総合研究所）

国内ゲーム市場のけん引役であるオンラインプラットフォームのゲームコンテンツ市場の内訳で最も大きいのはスマートフォン(タブレットを含む)向けのゲームアプリです。専用ゲーム機がなくても気軽にゲームを楽しむことが可能なため、スマートフォンの普及とともに高水準で推移しており、今後もゲーム市場の規模拡大に比例して成長していくと予想されます。

次に、当社グループの動画配信関連事業セグメントが属する動画配信市場におきましては、2022年のコンテンツ産業の市場規模は、前年比4.5%増の13兆2,698億円となり、そのうち、動画コンテンツは、前年比0.6%増の4兆2,945億円とこちらも市場が堅調に推移しております。（出典：『デジタルコンテンツ白書2023』 一般財団法人デジタルコンテンツ協会）

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,560百万円（前期比138.7%増加）、営業利益1,301百万円（前年同期は営業損失608百万円）、経常利益1,455百万円（前年同期は経常損失590百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,178百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,698百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの状況は次のとおりであります。

1. ゲーム事業

2023年11月22日にリリースしました新規ゲーム「東方幻想エクリプス」につきましては、開発体制から運営体制への移行がスムーズに進捗いたしました。キャラの育成イベントやショートイベントの実施、期間限定のピックアップガチャの開催といったユーザーに楽しんで頂ける施策の取組を行い、公式Xの活用やVTuberによるプレイ動画の配信によりゲームの魅力をお伝えする等、様々な新規流入施策を行っております。

今後は新規流入施策と併せて、感謝企画として来場される方への特典があるオフラインイベントの開催も予定されております。ユーザーの定着、継続率の向上を重視し、長期的に楽しんで頂けるコンテンツを目指して参ります。

「ゴシックは魔法乙女～さっさと契約しなさい!～」につきましては、クリスマスやバレンタインイベントなどを実施し、新メインストーリーを開始する等、ユーザー満足度向上施策を実施しておりますが、経年による売上高の減少により、厳しい状況が続いております。今後も継続してユーザー満足度の向上を図り、ユーザーの維持、獲得に努めてまいります。

また、連結子会社である株式会社でらゲーでは、主要ゲームである「モンスターストライク」や「キングダム 乱 - 天下統一への道-」が継続して当社グループの収益に大きく貢献しております。2024年1月25日には新感覚人狼型マルチプレイゲーム「サイレントサイン - シャドウハンターズ -」が正式リリースいたしました。YouTubeでの公式大会の配信やゲーム内の重要なポイントや戦略について解説する等、ユーザーの定着を重視した運営を行っております。

これらの結果、ゲーム事業セグメントにおける売上高は8,352百万円（前年同期比155.6%増加）となり、セグメント利益は1,350百万円（前年同期はセグメント損失548百万円）となりました。

2. 動画配信関連事業

当社グループの動画配信関連事業につきましては、ライブ配信プラットフォームの多様化、コンテンツの増加などを要因として競争が激化しております。ライバーのマネジメント業務の複雑化に伴う利益率の悪化に対応するため、アクティブライバーの維持や育成に取組みつつ、事業の見直しを行い、一定の利益を維持しながら、新規事業へのリソースの移行を進めております。

また、株式会社capableにおいて、新規事業施策の一環として店舗型事業の譲受を行いました。今後はcapableの持つSNSマーケティングのノウハウを活かし、新規売上の創出に取り組んでまいります。

YouTube事業については、主力コンテンツにおける広告収入が安定的に推移しており、引続き、収益の獲得に貢献しております。

DtoC事業を含むデジタルマーケティング事業につきましては、新色の商材による売上が好調に推移いたしましたが、暖冬の影響により主力の冬期商材の販売が伸びず全体的には、想定を下回って推移しました。

これらの結果、動画配信関連事業セグメントにおける売上高は208百万円（前年同期比34.7%減少）となり、セグメント損失は49百万円（前年同期はセグメント損失59百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて69百万円減少し、13,422百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金5,362百万円、売掛金1,111百万円、前払費用142百万円、未収入金641百万円、ソフトウェア405百万円、ソフトウェア仮勘定2,097百万円、投資有価証券973百万円、長期貸付金970百万円、関係会社長期貸付金341百万円、投資不動産333百万円、保険積立金737百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結累計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて1,369百万円減少し、7,035百万円となりました。主な内訳は、買掛金420百万円、未払金1,030百万円、未払費用229百万円、長期借入金809百万円、長期未払金3,400百万円、繰延税金負債413百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1,299百万円増加し、6,387百万円となりました。主な内訳は、資本金182百万円、資本剰余金620百万円、利益剰余金4,992百万円、自己株式1,205百万円、新株予約権1,087百万円、非支配株主持分653百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想については、現時点でグループ全体での合理的かつ信頼性のある業績予想の策定及び公表が困難であると考え、引き続き、非開示としておりますが、2023年5月期と比較して、増収、また営業増益を目指して参ります。今後、期間の経過により、適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能になり次第、業績予想を速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,283,751	5,362,880
売掛金	1,149,848	1,111,180
商品及び製品	58,384	44,478
仕掛品	-	29,657
貯蔵品	241	623
前払費用	243,711	142,701
未収入金	564,822	641,996
短期貸付金	156,940	55,187
その他	329,179	232,261
貸倒引当金	△217,720	△203,423
流動資産合計	8,569,160	7,417,544
固定資産		
有形固定資産		
建物	251,712	259,942
減価償却累計額	△171,469	△180,034
建物(純額)	80,242	79,907
車両運搬具	100,405	83,143
減価償却累計額	△89,393	△76,287
車両運搬具(純額)	11,011	6,856
工具、器具及び備品	249,550	287,948
減価償却累計額	△195,040	△195,091
工具、器具及び備品(純額)	54,510	92,856
土地	2,999	2,999
有形固定資産合計	148,763	182,619
無形固定資産		
ソフトウェア	-	405,159
ソフトウェア仮勘定	1,551,675	2,097,670
その他	1,240	1,240
無形固定資産合計	1,552,915	2,504,070
投資その他の資産		
投資有価証券	996,131	973,980
出資金	42,108	91,703
関係会社株式	129,823	114,017
長期貸付金	1,040,601	970,786
関係会社長期貸付金	321,000	341,000
敷金	116,852	113,317
投資不動産	393,883	333,063
保険積立金	897,472	737,784
差入保証金	26,836	32,077
その他	15,009	98,738
貸倒引当金	△758,087	△487,772
投資その他の資産合計	3,221,631	3,318,694
固定資産合計	4,923,310	6,005,384
資産合計	13,492,471	13,422,929

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	759,407	420,976
短期借入金	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	144,000	152,164
未払金	562,585	1,030,585
未払費用	218,228	229,007
未払法人税等	737,002	192,817
未払消費税等	430,035	71,558
契約負債	109,784	177,827
預り金	53,928	50,190
その他	14,698	22,895
流動負債合計	3,089,670	2,408,022
固定負債		
長期借入金	888,000	809,940
長期末払金	4,000,000	3,400,000
長期前受収益	33,000	-
繰延税金負債	356,902	413,819
その他	37,230	4,005
固定負債合計	5,315,132	4,627,764
負債合計	8,404,803	7,035,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,078,622	182,136
資本剰余金	1,055,236	620,670
利益剰余金	1,297,734	4,992,042
自己株式	△1,238,805	△1,205,863
株主資本合計	3,192,787	4,588,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,440	△8,424
為替換算調整勘定	40,430	65,159
その他の包括利益累計額合計	17,990	56,735
新株予約権	1,212,679	1,087,545
非支配株主持分	664,209	653,875
純資産合計	5,087,668	6,387,142
負債純資産合計	13,492,471	13,422,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2024年2月29日)
売上高	3,586,225	8,560,953
売上原価	1,724,296	4,693,155
売上総利益	1,861,928	3,867,798
販売費及び一般管理費		
回収費	296,809	888,066
広告宣伝費及び販売促進費	142,235	289,332
外注費	94,535	138,018
役員報酬	135,159	387,905
株式報酬費用	1,394,640	-
給料及び手当	62,199	84,865
研究開発費	59,633	172,567
地代家賃	38,126	59,710
保険料	16,223	150,717
支払手数料	39,245	43,933
支払報酬	77,474	84,816
その他	113,987	266,537
販売費及び一般管理費合計	2,470,265	2,566,470
営業利益又は営業損失(△)	△608,337	1,301,327
営業外収益		
受取利息	16,093	18,408
為替差益	19,375	-
経営指導料	50,000	-
受取解決金	28,000	-
貸倒引当金戻入額	-	293,198
その他	15,071	58,021
営業外収益合計	128,541	369,628
営業外費用		
支払利息	27,597	41,930
支払手数料	3,850	-
減価償却費	21,409	60,820
匿名組合投資損失	49,702	72,664
新株予約権発行費	2,238	-
その他	5,919	40,335
営業外費用合計	110,718	215,751
経常利益又は経常損失(△)	△590,513	1,455,204
特別利益		
負ののれん発生益	2,635,237	-
固定資産売却益	-	10,292
特別利益合計	2,635,237	10,292
特別損失		
投資有価証券評価損	31,684	8,905
関係会社株式評価損	70,297	-
固定資産除却損	2,692	-
特別損失合計	104,673	8,905
税金等調整前四半期純利益	1,940,049	1,456,592

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
法人税、住民税及び事業税	432,324	239,395
法人税等調整額	△182,901	49,504
法人税等合計	249,422	288,900
四半期純利益	1,690,626	1,167,691
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,079	△10,334
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,698,706	1,178,026

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	1,690,626	1,167,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,846	14,015
為替換算調整勘定	48,817	24,729
その他の包括利益合計	34,970	38,744
四半期包括利益	1,725,596	1,206,436
(内訳)		
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,079	△10,334
親会社株主に係る四半期包括利益	1,733,675	1,216,771

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2022年9月1日付で株式会社でらゲーの全株式を取得し、連結子会社としました。

この結果、第2四半期連結会計期間において、主に負ののれん発生益2,635,237千円を計上したことにより、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が著しく増加しております。

また、連結子会社である株式会社でらゲーが当社株式を所有していたこと、及び単元未満株式の買取りにより、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,191,479千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,238,721千円となっております。

また、当社は、2022年9月3日に連結子会社である株式会社でらゲーの取締役及び従業員並びに外部協力者に対し、割当てを行った第32回ストック・オプションとしての新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において、資本金が514,590千円、資本準備金が514,590千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,904,440千円、資本剰余金が881,055千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、新株予約権の権利行使に伴う新株の発行及び自己株式の処分により、当第3四半期連結累計期間において資本金が82,136千円増加し、資本剰余金が103,092千円増加し、自己株式が32,942千円減少しております。

また、2023年9月1日付で資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行ったことにより、資本金が1,978,622千円、資本剰余金が537,658千円それぞれ減少し、利益剰余金が2,516,280千円増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は182,136千円、資本剰余金は620,670千円、自己株式は1,205,863千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	ゲーム事業	動画配信 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,267,393	318,832	3,586,225	—	3,586,225
その他の収益					
外部顧客への売上高	3,267,393	318,832	3,586,225	—	3,586,225
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,267,393	318,832	3,586,225	—	3,586,225
セグメント損失(△)	△548,947	△59,389	△608,337	—	△608,337

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間に、株式会社でらゲーの全株式を取得し、同社及び同社の子会社を連結の範囲に含めたことにより、当第3四半期連結累計期間における「ゲーム事業」セグメント資産が、前連結会計年度末に比べ、2,358,868千円、報告セグメントに帰属しない全社資産が5,768,470千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、株式会社でらゲーを子会社化したことに伴い、負ののれん発生益2,635,237千円を特別利益に計上しておりますが、当該負ののれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額により開示しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	ゲーム事業	動画配信 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,352,675	208,278	8,560,953	—	8,560,953
その他の収益					
外部顧客への売上高	8,352,675	208,278	8,560,953	—	8,560,953
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,352,675	208,278	8,560,953	—	8,560,953
セグメント利益又は損失(△)	1,350,475	△49,148	1,301,327	—	1,301,327

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。